

田村市指定有形民俗文化財

え ま はんにくぼりし し ず
絵馬「半肉彫獅子の図」



天保3（1832）年に安倍文殊菩薩堂に奉納された縦55㍍×横65㍍の木彫工芸絵馬です。

文殊菩薩は学問の仏として広く信仰され、獅子の背に騎座するとされたことから、作者の田村龍之助重延はその獅子を彫って奉納することで、学問の成就（彫刻技術の向上）を祈願したものと推測されます。

なお、安倍文殊菩薩堂は安倍貞任に由来する縁起を持ち、天明3（1783）年に再建されたと伝わります。